



不二鋳材株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年1月1日～ 2023 年12月31日)

作成日: 2024年4月26日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要、事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績、環境経営目標及びその実績、環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無 緊急事態対応訓練、代表者による全体の評価と見直し・指示	8

環境経営方針

<環境経営理念>

私たちの住む地球は貴いものであり、そこにある自然環境の健全性を維持し次世代へと引き継いでいくことが私たちに課せられた重大な責務である。
不二鋳材株式会社は耐火物専門商社としての社会的貢献を果たすとともに、事業活動の中から環境に与える影響を考慮し、その改善に取り組む。

<環境保全への行動指針>

1. 地球環境保護への取り組み
事業活動において環境負荷の低減に積極的努力をする。自ら具体的な低減目標を定め、目標達成に向け全従業員が自主的に行動する。
2. 省資源・省エネルギーの推進。
資源・エネルギーの消費量を管理し環境負荷の状況を認識するとともに、効率的利用を推進する。
3. グリーン購入・グリーン調達の推進
環境配慮型の商品や省エネルギー設計の製品の購入を進めていく。
4. 製品・サービスに関する環境配慮
営業活動における公共交通機関の優先利用、商品配送ルートの効率化により環境への負荷低減に努める。築炉工事において長寿命の耐火材料を用いた省資源型炉の提案を行う。土壌改良材の販売を推進する。
5. 環境関連法規の遵守
環境保護に関する法律・規制・基準及びその他の要求事項を遵守する。
6. 継続的改善の実施
環境保護への取り組みの結果を継続的に見直し、改善に努める。
7. 従業員の教育と啓発
全従業員に対してこの環境経営方針を周知徹底させるとともに、環境意識向上のための教育と啓発に努める。
8. 活動内容の開示
この環境経営方針をはじめ環境活動に関する資料は、「環境経営レポート」に集約し開示します。

平成17年3月25日制定
令和5年年4月1日改訂

不二鋳材株式会社
代表取締役社長 水谷 基泰

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
不二鋳材株式会社
代表取締役社長 水谷 基泰
- (2) 所在地
本社 大阪府大阪市北区梅田二丁目5番2号
東京支店 東京都中央区京橋三丁目12番7号
名古屋営業所 愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目21番19号
小倉営業所 福岡県北九州市小倉北区米町1丁目4番21号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
総務部 次田健一 TEL:06-6344-2231
- (4) 事業内容
耐火物原料鋳石の輸出入及び販売、耐火物製品の販売
並びに各種窯炉の設計・施工

(5) 事業の規模

売上高		121 億円			
		本社	東京支店	名古屋営業所	小倉営業所
従業員	名	34 名	19 名	5 名	8 名
延べ床面積	m ²	637.38 m ²	201.92 m ²	113.42 m ²	107.59 m ²
					合計
					66名
					1,060.31m ²

- (6) 事業年度 2023年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日

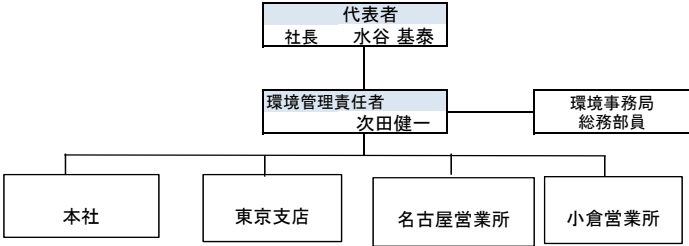
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 不二鋳材株式会社
対象事業所： 本社
東京支店
名古屋営業所
小倉営業所

活動： 耐火物原料鋳石の輸出入及び販売、耐火物製品の販売
並びに各種窯炉の設計・施工

□事業や製品(商品)の紹介

耐火物原料鋳石の輸出入及び販売
耐火物製品の販売
各種窯炉の設計及び施工管理



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	87,524	72,537	78,490
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,417	1,336	1,199
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
水使用量	m	21	21	0

※二酸化炭素排出係数 東京支店:東京電力エナジーパートナー(株) 2021年度調整後排出係数 0.452
本社:関西電力(株) 2021年度調整後排出係数 0.311
名古屋営業所:中部電力ミライズ 2021年度調整後排出係数 0.388
小倉営業所:九州電力(株) 2021年度調整後排出係数 0.385
※各拠点はビル内に入居しており個別に水使用量が把握できません。また大阪倉庫の閉鎖に伴い、2023年の水使用の把握量はゼロとなっています。今後、水使用量は削減目標とせず、適正使用の監視を行うこととします。

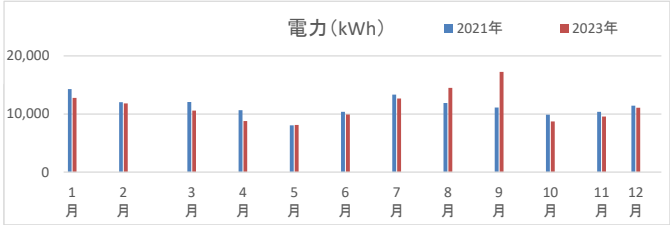
□環境経営目標及びその実績

項 目		年 度		評 価	基準値	2023年		2024年	2025年
					(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		50,931	×	44,120	46,422	×	49,403	48,894
	基準年度比		2021年	×	98%	104%	×	97%	96%
	原単位 kWh/千円		0.015	○	0.014	0.011	○	0.014	0.014
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		36,593	○	35,861	32,068	○	35,495	35,129
	基準年度比		2021年	○	98%	88%	○	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	87,524	○	79,983	78,490	○	84,898	84,023
一般廃棄物の削減	kg		1,417	○	1,389	1,199	○	1,374	1,360
	基準年度比		2021年	○	98%	85%	○	97%	96%

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

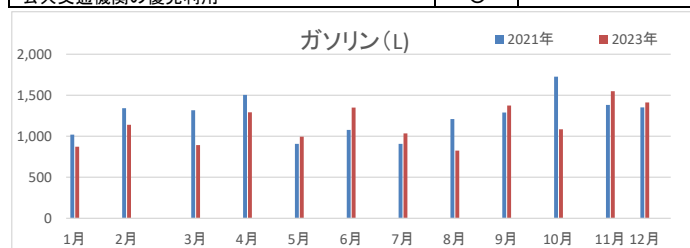
数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	記録的な猛暑により夏場以降の使用電力増加。次年度(2024年)も猛暑が予想されるため、空調温度の適正化に努める。
・省エネ目標説明	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・昼休みの消灯	○	



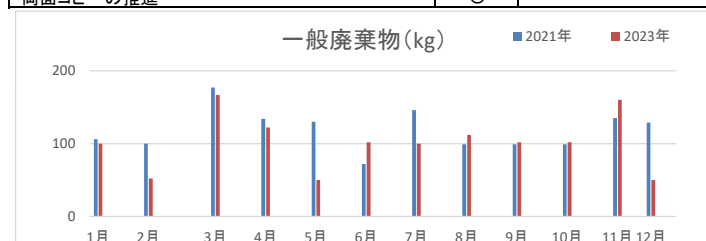
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	14,271	12,036	12,063	10,647	8,047	10,365	13,328	11,873	11,119	9,890	10,356	11,436
2023年	12,779	11,818	10,583	8,769	8,107	9,922	12,671	14,488	17,236	8,710	9,559	11,066

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成。順調推移。継続すること
・ガソリン削減目標の設定	○	
・レンタカーの低燃費車利用推進	○	
・公共交通機関の優先利用	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	1,020	1,342	1,318	1,504	908	1,077	908	1,210	1,289	1,728	1,382	1,352
2023年	873	1,140	892	1,292	995	1,349	1,035	825	1,376	1,084	1,550	1,411

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成。順調推移。継続すること
・一般廃棄物削減目標説明	○	
・裏面使用	○	
・両面コピーの推進	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	106	100	177	134	130	72	146	99	99	99	135	129
2023年	100	52	167	122	50	102	100	112	102	102	160	50

口環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物の分別徹底
自動車リサイクル法	使用済み自動車はリース会社へ返却する
大阪府流入車規制	車種規制適合車を使用する
家電リサイクル法	テレビ等は引き取り業者へ引渡す
資源有効利用促進法	パソコン・モニターをメーカーへ引渡す
消防法	ビル管理会社の規定に基づく管理
グリーン調達法	環境に配慮した製品をできる限り優先購入する

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

☑外部からの環境上の苦情・要望等

特になし

☑緊急事態対応の試行・訓練

本社:1/16,7/19 2名 ビル主導の避難訓練に参加。初期消火活動・119番通報(模擬)・発信機を操作(模擬)・避難経路確認の実施。

東京支店:4/19 16名 ビルより配布パンフレット『ネットで自衛消防訓練』をメール回覧にて対応。

名古屋営業所:11/27 5名 非常放送の後、入居者は安全確認を行い駐車場に避難開始。避難誘導班は屋内・屋外階段を使用して避難誘導。

通報連絡班は点呼確認を行い統括管理者に避難完了を報告。その後、水消火器を使用した初期消火訓練を実施。

小倉営業所:特になし

☑代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2024年4月26日

電力による二酸化炭素削減の取り組みは、夏場で大きく数値が上がっているため冷房が原因と考えられる。空調温度の適正化に努めるよう意識したい。一般廃棄物に関しては、今後、クラウドの活用で運用可能な部分に関しては削減のため転換していきたい。全体として達成できなかった部分は意識を変えて行動に移し、その他の部分は2024年も継続していきたい。

※『6経営計画』において、2022年度と比較し基準年kWhが減少しているのは、今年度より大阪倉庫集計分を除いているため。

※製品への環境配慮(土壌改良材の販売)については、2023年をもってメーカーの生産中止に伴い、販売ができなくなる為、集計から外す。

※大阪倉庫の閉鎖に伴い、2023年の把握量はゼロとなった。今後、水使用量は削減目標とせず、適正使用の監視を行うこと。

環境経営方針

☒ 変更なし

☐ 変更あり

環境経営目標・計画

☐ 変更なし

☒ 変更あり

実施体制他

☒ 変更なし

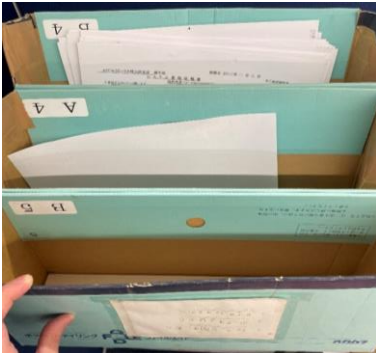
☐ 変更あり

☑編集後記

地球温暖化が非常に意識されるようになり、企業・個人で少しずつ普段の活動を意識して省エネ活動を行っていく必要がある

具体的な取組

エアコン適正温度の明記、裏紙のサイズ分類、ごみの分別等を行っています。



「令和3年度おおさか環境にやさしい建築賞」商業施設その他部門賞を受賞

株式会社サンケイビル(本社:東京都千代田区大手町、代表取締役社長:飯島一暢)、不二鉦材株式会社(本社:大阪府大阪市北区梅田、代表取締役社長:水谷基泰)は、令和3年度おおさか環境にやさしい建築賞(※)において、2020年11月竣工の「西梅田サンケイビル/ホテルインターゲート大阪 梅田」(所在地:大阪府大阪市北区梅田二丁目5番2号、以下「本物件」という)が「商業施設その他部門賞」を受賞したことをご報告いたします。

本物件の外観は、景色や太陽光を取り込む大きな窓で構成された端正で美しいファサードで西梅田の街並みに調和し、環境配慮と建築デザインが融合しています。また設備面では、大温度差送水・排熱回収型の水冷ビルマルチによるヒートアイランドへの貢献や、生体リズムに合わせたおやすみ空調・照明制御など、環境配慮と人にやさしい室内空間を提供している点が評価されました。



左:西梅田サンケイビル 外観
右上:ホテルインターゲート
大阪 梅田/ラウンジ
右下:同/ローカルアートギャラリー

SDGs(持続可能な開発目標)への貢献

当社は今後もひとつひとつ丁寧な開発を行い、都市に暮らす人々の生活利便性や、働き方・暮らし方の多様性に応えるために、時代に合わせたオフィスビルを提供することで、人々が安心して働けるまちづくりに取り組み、社会貢献を意識した開発に取り組んでまいります。

なお、本リリースの取り組みはSDGsにおける以下の目標に貢献しています。

- 目標 7:** 全館LED 照明を設置。夜間明るすぎない適正な照明計画。熱源水の大温度差送水による搬送動力低減による省エネ。水冷空調採用によるヒートアイランド現象の抑制。
- 目標11:** CASBEE 大阪みらいランクA、BELS 評価 ZEB oriented 取得。
2 階に緑化バルコニー設置、歩道状公開空地の緑化。
- 目標12:** 既存地下躯体を地下受水槽室・設備ビットに再利用。解体、建設時に出る廃棄物の適正な処理。
- 目標13:** BCP 対応として停電対応型コージェネ・中圧ガスを採用。歩道状公開空地の設置。
大阪市帰宅困難者受入れ施設に登録。